

米国の連帯団体がキューバに 600 万本の注射器を送る

teleSUR 21 July 2021

米国の連帯団体がキューバに 600 万本の注射器を送る

Solidarity Groups from the US Send 6 Million Syringes to Cuba

leads:

連帯と愛、そして封鎖の撤廃を求めて、「アメリカ＝キューバ連帯運動」(the Cuba Solidarity Movement in the United States)は記者会見を開き、キューバ支援を継続すると宣言した。

また「600 万本のワクチン用シリンジをキューバに送る」キャンペーンが達成されたことを発表した。

.....



記者会見では運動のメンバーが、コロナ対策のために「600 万本のワクチン用シリンジをキューバに送る」資金調達キャンペーンについて語られた。

声明によると、7月17日(土)に約200万本のシリンジがキューバのマリエル港に到着した。連帯運動のメンバーは、ワシントンD.C.のキューバ大使館に受け渡し証明書を贈った。

メンバーの一人、ベンジャミン氏は、「今後も注射器だけでなく、抗生物質、鎮痛剤、避妊薬、ビタミン剤、高血圧・がん・糖尿病の治療薬などの医薬品や医療品を送るための資金を集める」と述べた。

彼は、カルロス・ラソ教授の「愛の架け橋」プロジェクトのおかげで、キューバ系アメリカ人からの支援を受けていることも強調した。

記者会見では、次のようなエピソードも語られた。

キャンペーンの宣伝車に乗っていると、誰かが車を止めて出てきた。そしてポケットから 20 ドルを取り出して、「キューバの医師の偉大な仕事に敬意を表したい」と言った。

「このキャンペーンは、乏しいお金しか持たない人々でも、本当に真剣に貢献してくれています」とベンジャミン氏はつけくわえた。

会見者の一人で、米国在住キューバ人のカバレロ氏は、米・キューバ両国の国民が団結する必要性があり、国外に住むキューバ人の大多数が故国支援の思いを持っていると述べた。

そして「このキャンペーンに 50 万ドル強の資金が寄せられたことは、キューバに共感し、両国民の結束を願う人々が貢献してくれた結果です」と強調した。

.....

今回のシリンジの購入と発送計画は、27 年間にわたってキューバに医薬品や医療品を送り続けている人道支援団体「Global Health Partners」が企画したものである。

募金を行った団体には、

#SavingLives Campaign (封鎖反対の団体の連合体)、コードピンク、「人民フォーラム」、国際港湾労働者組合 (ILWU)、アメリカ民主社会主義党 (DSA)、そしてキューバ系アメリカ人で構成された 2 つのグループ、「キューバ封鎖をやめろ」運動と「愛の架け橋」プロジェクトがある。